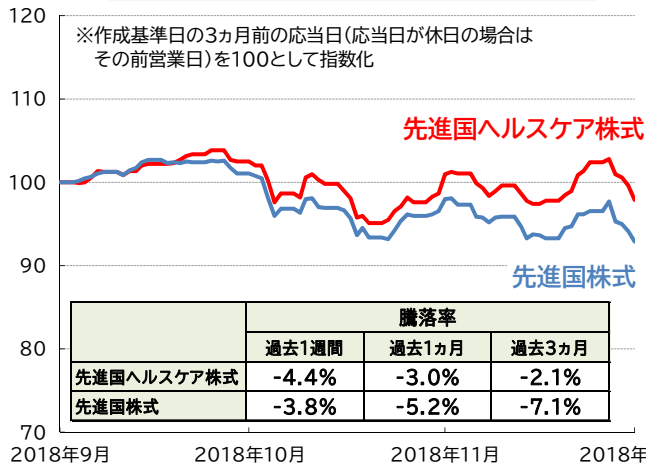


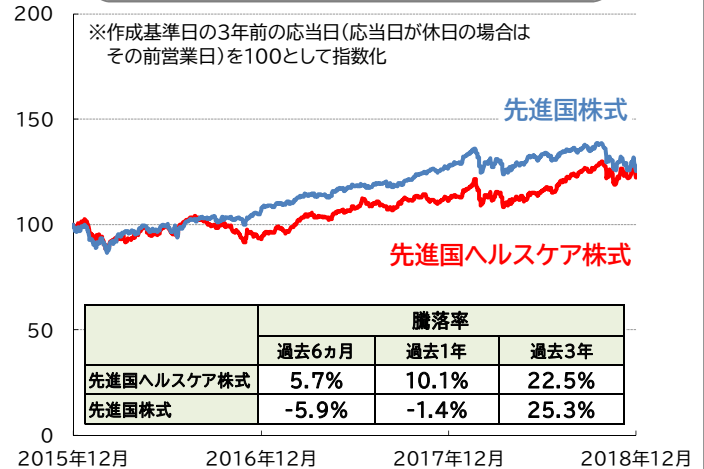
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
ウリアム・デ・マント・ホールディング	5.6%
イブセン	4.1%
シー・エス・エル	3.7%
スミス・アット・ニュー	3.5%
コレラ	3.0%

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

	先進国株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益
1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想	16.7	19.9	37.2	13.5	14.4	15.5	10.4	16.7	23.1	8.5	7.9
今期予想PER(倍)	14.9	16.9	14.0	12.3	14.8	15.7	18.7	10.9	16.4	15.8	16.6
3期先予想PER(倍)	12.6	14.4	10.8	11.3	12.5	13.2	16.1	9.3	13.4	13.4	14.7

(出所)Bloomberg

*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

■マーケット・コメント

先週は、先進国株式、先進国ヘルスケア株式は共に下落しました。

- ・先進国株式は、中国のファーウェイのCFO兼副会長が米国の対イラン制裁に違反した疑いでカナダで逮捕されたことなどから、米中関係悪化に対する懸念が高まったことなどを背景に下落しました。セクター別では、金融や資本財・サービスなどが下落しました。
- ・先進国ヘルスケア株式も先進国株式と同様に下落し、ヘルスケアテクノロジーなど全てのセクターが下落しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック

- ・5日、武田薬品工業によるアイルランドの製薬大手シャイアーの買収が、両社の株主総会で承認されました。日本企業による海外企業買収額としては過去最高の約7兆円となり、買収後には日本企業で初めて売上高で世界トップ10入りすることになります。これを受け、巨額負債による財務悪化が懸念されたことなどから武田薬品工業の株価は下落しました。
- ・米国血液学会が1~4日に行われ、「キメラ抗原受容体T細胞(CAR-T)療法」という、患者の細胞を取り出し、遺伝子の一部を改変して体内に戻す治療方法や、「バイスペシフィック抗体」と呼ばれる、2つの異なる抗原に結合できる抗体を用いた治療法などが注目されました。また、米グローバル・ブラッド・セラピューティクスは、鎌状赤血球症(貧血、黄疸などの症状から最悪の場合死に至る遺伝病)に対する治療薬について発表し、新薬承認への期待が高まったことなどから同社の株価は48%上昇しました。(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1か月前、3か月前、6か月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

- 先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
- 先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他の財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。